

高強度・高耐熱・高耐食ステンレス鋼線 『TouPH Stainless(タフステン)』を開発

当社は、優れた成分設計と、加工技術の融合により高強度・高耐熱・高耐食性を有するばね用ステンレス鋼線『TouPH Stainless(タフステン)』を開発しました。

強度や耐熱性が求められる自動車用途等では、SUS631系で代表される析出硬化型ステンレスが広く使用されています。しかし、250℃を超える中高温域で、且つ耐食性を要求される場合には、ホットセッティングの実施や高価なハイグレード材が使用され、コスト面が大きな課題となっております。

『TouPH Stainless(タフステン)』は、SUS631系を凌駕する強度並びにばね特性を有し、中高温域においてハイグレード材に迫る耐熱へり性を示します。また、強度向上に不可欠な時効条件として従来と同等条件を活用でき、ハイグレード材に必須な高温・長時間の時効処理が不要。SUS631系対比、引張強さは約100MPa以上、横弾性係数は5000N/mm²程度高位であり、更に耐食性もSUS316と同等以上の性能を有し、従来のステンレス鋼線のコストでは展開できなかった『高強度・高耐熱・高耐食』領域への展開を実現しました。

特に常温～約450℃に渡る中高温域における耐熱性、高応力による設計及び耐食性が要求されるばね用途等、ばね用ステンレス鋼線として大いに期待出来る材料です。

適応線径はφ0.1mm～φ6.0mm。既に量産体制を整え、今後サンプル対応を開始いたします。

※ 『TouPH Stainless(タフステン)』の「TouPH」は、析出硬化：Precipitation Hardeningを引用。

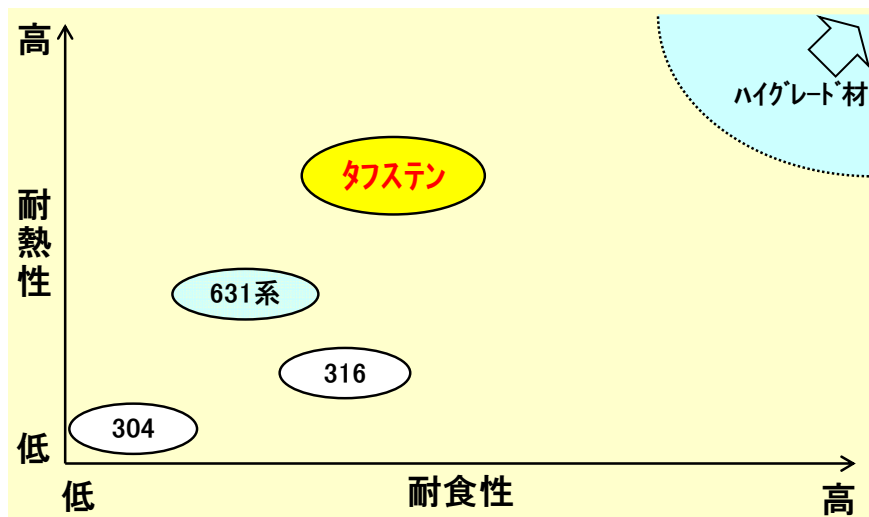


図 タフステン 耐熱性と耐食性の位置付け

お問合せ先 日本精線株式会社 枚方工場
〒573-8522 大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号
研究開発部 開発室 飽浦(あきうら) 常夫
TEL:072-840-1265 FAX:072-840-4693
URL: <http://www.n-seisen.co.jp>